

---

# ロストタイム

ショウヘイ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ロストタイム

### 【Nコード】

N3134Y

### 【作者名】

シヨウヘイ

### 【あらすじ】

奇妙な事件の弁護依頼が舞い込んだ。

殺人を犯した犯人が犯行時の記憶がないというものだ。

彼の記憶を取り戻し、真実を打ち明けなければならない。

## 始まりの音

2016年6月12日。

一人の男が逮捕された。

名前はスティーブ・マクレイン。

罪名は殺人。

犯人のステイプは錯乱している様子だった。彼の顔色は尋常ではなかった。

罪を犯したせいか、顔色は蒼白い。

ただ、彼には裏があつた。

殺人罪で逮捕された彼には記憶がない。

人を殺めた記憶。

被害者との面識。

それどころか、その日、一日の記憶が全くなかったのだ。

気が付けば警官に押さえつけられ、パトカーに乗せられていた。

尋問を受けようにも答えられない。

答えない彼を警察は追い込もうとしていた。

彼にとってみれば冤罪。

自分の知らない間に人が死に、死に追いやったのが自分と言うことになっていく。

彼に逃げ道はなかった。

身に覚えのない罪を認めるしかない。

そうすれば、少しは楽になる。

彼の頭はいつもボンヤリとしていた。

そんな彼を弁護することになった人物がいた。

ジョン・ダグラス。

弁護士だ。

運の悪い事に彼の弁護をすることになった。

100%勝ち目のない弁護を引き受ける弁護士なんてどこにも居なかった。

しかし、彼にはステイプを弁護する必要があった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3134y/>

---

ロストタイム

2011年11月7日11時11分発行